

女性活躍推進調査（企業向けアンケート）の実施について

1 趣旨

少子高齢化の進行に伴い、生産年齢人口が減少するなか、魅力と活力あふれる富山県を持続・発展していくためには、若者や女性、高齢者など、誰もが意欲や能力に応じて活躍できる環境づくりを進めることが大変重要である。

国においても、「働き方改革」を一億総活躍社会に向けた最大のチャレンジと位置づけ、本年3月には、長時間労働の是正、柔軟で多様な働き方や女性の活躍推進などを盛り込んだ「働き方改革実行計画」をまとめられ、さらに、6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2017（骨太の方針）」においても、働き方改革や女性の活躍推進に積極的に取り組むこととされたところである。

本調査では、県内の企業経営者およびその従業員を対象に、採用、登用、能力開発、子育て支援等の女性の活躍推進の状況を調査するとともに、働き方改革や生産性向上の取組事例を把握することにより、女性がその能力を十分発揮し、活躍できる職場環境づくりの一層の推進を図るものである。

なお、本調査の結果および対応については、今年度改訂する「富山県民男女共同参画計画（第4次）」にも反映する。

2 調査内容

- (1) 調査対象 県内企業経営者及び当該企業の従業員
 (2) 標本数 県内企業経営者：1,000件 業種・従業員規模ごとに抽出
 当該企業従業員：3,000件 規模に応じて1社2～8名程度抽出
 (3) 項目の概要（詳細は別紙のとおり）

区分		企業経営者向け		従業員向け	
女性活躍	意識に関すること	4問	取組状況の自己分析、重要だと思うこと等	5問	自社の意識の評価、管理職登用の意識等
	現状（数値関係）に関すること	8問	採用、平均勤続年数、残業時間、管理職登用、育児休業取得の状況等	—	
	行動計画策定状況に関すること	2問	策定の有無等	—	
	取組みに関すること	8問	採用、配置、能力開発、育児・介護との両立、登用、職場風土改善等	2問	自社の取組の評価、進めてほしい取組
働き方改革・生産性向上に関すること		2問	残業、柔軟な働き方の取組、生産性向上の事例等	—	
女性活躍	県事業の認知状況	1問		—	
	課題	1問		1問	
	県や国への要望	1問		1問	
計		27問		9問	

3 今後のスケジュール

- 7月4日 女性の活躍推進委員会（第1回）にて調査案検討
 7月中～9月中旬 調査・分析
 10月上旬 女性の活躍推進委員会（第2回）にて調査結果の報告